

母の誕生日

マンガ / めこー様ちゃん

わが家のすこやか日記



作品

一般部門

自転車で塾に通っている中学生の長男が、いつもの時間に
なっても塾から帰宅しない。外はすでに真っ暗。心配からい
らだちをつのらせる母。「ただいま。」と元氣よくドアを開け
た長男が、「お母さん、誕生日おめでとう。」と差し出した小

さなケーキの箱。そうか、今日は自分の誕生日だった。400
円しか持っていないなくてーピースしか買えなかったなんて。用
意していたお説教の言葉をぐっと飲み込み、涙をこらえなが
ら「ありがとう。」と言ったのが精一杯だった。